

The 14th Asia Pacific Automotive Engineering Conference

"Impacts & Opportunities for the Global Automotive Industry"



The 14th Asia Pacific Automotive Engineering Conference (APAC-14) に参加して

工学院大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 乙黒 昌也

1. はじめに

2年に1回、アジア・太平洋地区で開催される自動車技術に関するIPC (International Pacific Conference on Automotive Engineering) は、第14回からAPAC (Asia Pacific Automotive Engineering Conference) と名称を変えました。8月5日～8日に行われたAPAC-14で私が参加しましたので、その感想や発表会以外で得た体験等を報告します。

2. 発表について



発表会場のホテル

会場はアメリカ合衆国カリフォルニア州のルネッサンスハリウッドホテルでした。実際に現地へ行ってみると、会場はハリウッドで最も栄えているハリウッド

ハイランドの中に位置しており、あの有名なハリウッドサインを望めるポイントがありました。



ハリウッドサイン

私の発表は6日に行い、題目は“Design of a Fuel-Cell Electric Vehicle with a Hydrogen Generation System Fueled with Ammonia” というもので、燃料電池自動車への水素供給システムの新しい概念の研究結果を発表してまいりました。アンモニアは他の液体燃料より有利な点が多く改質方法も単純なため、もっとも有効な液体燃料であると考えられます。そこで発表内容は、燃料としての優位性、水素生成方法、また試作した燃料電池電気自動車にを主としたものです。

発表会場では聴講者約 25 名、座長は Bob Welge (Robert's Engineering Development) さんでした。口頭発表は問題なく終わり、質疑応答では分解後の水素純度やシステム効率について聞かれました。最初は質問者の英語が難しく苦戦しましたが、簡単な英語に直して質問してもらい無事に終わることが出来ました。自分の発表以外でも自動車に関する最新の研究を聴講することができ、大変勉強になりました。



発表の様子

3. 発表会以外で得た体験について

発表日以外の日を利用してハリウッドやロサンゼルス観光をしました。中でもロサンゼルス市街にあるピーターセン自動車博物館には、米車や日本車等を含む古き良き時代の名車やひと昔前のインディカー、牛の頭を飾りとした奇抜な自動車等がありました。



ひと昔前のインディカー



奇抜な自動車

現地ではレンタカーで移動を行いました。発表を終えて宿に帰る際、タイヤから異音が出たため確認すると、なんとタイヤに釘が刺さっていました。次の日にレンタカー屋で交換してもらい事なきを得ましたが、異国でのハプニングに少々焦りました。

また、帰国日前日にラスベガス近郊にあるネバダ州立公園のバレーオブファイヤーに行きました。バレーオブファイヤーはその名の通り炎のようにオレンジ色に輝く神秘的な谷で、日本では決して見る事の出来ない光景が広がっていました。



VALLEY OF FIRE

4. 最後に

今回、APAC-14 を通じて大変貴重な経験をさせて頂きました。もっと英語の勉強をしておけばよかったなと反省しております。最後になりましたが、発表に際して多大なご指導を頂きました本学の雑賀教授に深く御礼申し上げます。